

# 市町村の動き

## 二戸市浄法寺町地区の新たな下水道計画

### ～「下水道未普及解消クイックプロジェクト」社会実験～

報告：二戸地方振興局土木部

6月25日

二戸市浄法寺町（旧浄法寺町）は、二戸地方振興局管内の市町村において唯一公共下水道計画がありませんでしたが、この度、同地区の中心市街地約65㌥が、国土交通省が実施する「下水道普及解消クイックプロジェクト」の社会実験箇所に採択されました。

このプロジェクトは、全国の下水道整備水準の地域間格差が顕著であることから、人口減少と厳しい地方財政事情により下水道整備がなかなか進まない状況にある市町村から、従来の手法に捉われない新たな整備手法や計画手法を募集し、下水道事業のコスト縮減や事業期間短縮を目的に社会実験を行い、下水道の普及を早急かつ効率的に進めるものです。二戸市の外、全国8市町がモデル都市として選定されました。

この地区は、これまで市町村設置型浄化槽による整備を計画していましたが、浄化槽の設置スペースが無い宅地や道路より低い宅地が多く、整備が遅れていました。この事業により、新たな計画手法・整備手法による効率的な公共下水道事業の早期実現を目指します。

#### 新たな計画手法・整備手法

##### ○ 技術・規模

- 1) 露出配管 450m (道路の下ではなく、民地を利用して下水道管などを設置します)※
- 2) 工場製作型極小規模処理施設 (膜分離型) 300m<sup>3</sup>/日 (計画日最大)

##### ○ 期待される効果

- 1) 露出配管：埋設工事が不要なため低コスト。民地を活用し簡易な設置・改築が可能。
- 2) 処理施設：低コストで早期の設置が可能。人口動向の変化に柔軟に対応。

##### ○ ※懸念事項

民地の管路敷設条件の確認、人為的破損・自然災害の対応、凍結防止、高温化の下水腐敗 等

